

歯科口腔外科科専攻医カリキュラム

1. 目標

(社) 日本口腔外科認定専修医の取得を目標に、指導医のもとに研修を行う。

2. 研修スケジュール

年度	
1年度	歯科口腔外科 (病棟、外来、手術室)
2年度	歯科口腔外科 (病棟、外来、手術室)
3年度	歯科口腔外科 (病棟、外来、手術室)
終了後の予定	引き続き専門医の取得を目指すものは愛知学院大学歯学部顎顔面外科学教室との連携に従い勤務先を選定。

3. 診療科の特徴

4. 研修体制

1) 教育病院の指定の有無

(社) 日本口腔外科学会認定研修施設

2) 研修カリキュラム

(社) 日本口腔外科学会認定専門医カリキュラムに準拠

3) 取得可能な認定医および取得可能な時期

(社) 日本口腔外科学会認定専修医 (学会会員期間 2 年が必要)

4) スタッフ体制

部長1名、副部長1名、常勤医2名、専攻医0名、研修医 2名

5) 症例検討会、抄読会等のスケジュール

(1) 症例検討会: 毎週1回水曜日 15時～16時

(2) 抄読会: 毎月1回最終水曜日 16時～17時

(3) 合同カンファランス: 不定期

(4) その他: 地域連携勉強会を不定期に開催

6) 主な参加学会

日本口腔外科学会

日本口腔科学会

日本頭頸部癌学会

他

7) 定期的に参加する研究会等

(1) 東三河口腔外科懇話会 年2回

(2) 病院歯科口腔外科懇話会 年1回

(3) 日本病院歯科口腔外科協議会 年1回

(4) 愛知学院大学歯学会 年2回

5. 主な経験目標

1) 診察法・検査・手技

(1) 診察法

問診、視診、触診等基本的審査法および各種検査機器を用いた診察法に関し習熟する。

(2) 検査法

各種画像検査、血液生化学的検査、生理検査等について複合的な判断を習得する。

(3) 基本的手技

患者面接、基本的手術手技、および（社）日本口腔外科学会認定専門医カリキュラムに必要とされる執刀手術を担当する。

(4) 基本的治療法

手術管理、周術期管理、緩和ケア管理等に習熟する。

他科疾患患者の NST と連携した口腔ケアの指導を習得する。

2) 経験すべき症状・病態・疾患

(1) 症状

炎症、のう胞、腫瘍、外傷、顎関節疾患等代表的口腔外科疾患の特徴的症状を理解する。

(2) 病態

各疾患の慢性期、急性期、悪性腫瘍においては終末期の病態についてその管理法に習熟する。

(3) 疾患

炎症、のう胞、腫瘍、外傷、顎関節疾患等口腔外科疾患を幅広く経験する。

3) 研究会・学会発表・論文発表

(1) 研究会発表 以下の研究会等のいずれかに1回以上の発表を行う。

東三河口腔外科懇話会もしくは他の医学歯学系研究会

(2) 学会発表 以下の学会のいずれかに1回以上の発表を行う。

(社) 日本口腔外科学会認定専修医および専門医の申請に必要な関連学会

(3) 論文発表 以下の学会誌のいずれかに1編以上の掲載を行う。

(社) 日本口腔外科学会認定専修医および専門医の申請に必要な関連学会誌